



## 平成 26 年 10 月期 第 1 四半期決算短信（連結）

平成 26 年 1 月 31 日

会 社 名 太陽毛絲紡績 株式会社 グリーンシート銘柄 オーディナリー  
コード番号 3 2 1 1 本社所在都道府県 埼玉県  
本社所在地 埼玉県川口市上青木 5-5-9  
代表者 代表取締役社長 内 山 正 治  
問合せ先責任者 管理部長 太 田 仁 典 TEL (048) 265-2414

## 1. 平成 26 年 10 月期第 1 四半期の業績（平成 25 年 10 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日）

- (注) 1. 本四半期決算短信の数値は、未監査であります。  
2. 本四半期決算短信の数値は、税効果会計の適用等、所要の会計上の修正を行っておりません。  
3. 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## (1) 連結経営成績

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26 年第 1 四半期	157	(△8.8)	△7	(—)	△11	(—)
25 年第 1 四半期	173	(△4.3)	△1	(—)	△7	(—)

	当 期 純 利 益		1 株 当 た り 当 期 純 利 益	潜在株式調整後 1 株 当 た り 純 利 益	自 己 資 本 当 期 純 利 益 率	総 資 産 経 常 利 益 率	売 上 高 経 常 利 益 率
	百万円	%	円 銭	円 銭	%	%	%
26 年第 1 四半期	△11	(—)	△3.16	—・—	△0.8	△0.3	△7.1
25 年第 1 四半期	△7	(—)	△2.20	—・—	△0.6	△0.2	△4.4

- (注) 1. 有価証券の評価益 147 百万円 デリバティブ取引の評価損益 一百万円  
2. 期中平均株式数 26 年第 1 四半期 3,569,137 株 25 年第 1 四半期 3,569,737 株  
3. 会計処理の方法の変更 無  
4. 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率  
5. 潜在株式の存在 無

## (2) 連結財政状態

	総 資 産	純 資 産	自 己 資 本 比 率	1 株 当 た り 純 資 産
	百万円	百万円	%	円 銭
26 年第 1 四半期	3,759	1,391	37.0	389.96
25 年第 1 四半期	3,596	1,341	37.3	375.78

(注) 期末発行済株式数

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 26 年第 1 四半期 3,589,000 株 25 年第 1 四半期 3,589,000 株  
② 期末自己株式数 26 年第 1 四半期 19,863 株 25 年第 1 四半期 19,263 株

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	百万円	百万円	百万円	百万円
26年第1四半期	9	△ 2	190	248
25年第1四半期	△8	△ 11	69	144

2. 平成26年10月期の業績予想（平成25年10月1日～平成26年10月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金		
				中 間	期 末	
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭	円 銭
中 間 期	385	△13	△14	—	—	—
通 期	1,030	40	37	—	—	—

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正 無

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期）10円37銭

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

- (1) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。
- (2) 平成25年11月15日開示「決算期変更及び定款の一部変更に関するお知らせ」のとおり、当社は平成25年12月16日開催の第89回定時株主総会決議により、決算期が9月30日から10月31日に変更となっております。これにより、当事業年度は平成25年10月1日から平成26年10月31日までの13ヶ月間となります。

※ 反社会的勢力との関係排除への取組みとその運用状況

(1) 反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方

当社グループは、反社会的勢力との関係につきましては、取引関係を含め一切遮断することを基本方針としております。

(2) 反社会的勢力排除に向けた整備状況

当社グループは、反社会的勢力の経営活動への関与や当該勢力による被害を防止する観点から、管理本部を対応部署とし、必要に応じて、警察、顧問弁護士などの外部専門機関と連携し、反社会的勢力の排除に向けて取り組んでおります。

## 第90期 第1四半期報告書

(平成25年10月1日から平成25年12月31日)

会社名（定款上の商号）	太陽毛絲紡績株式会社
英 文 名	TAIYO WOOLEN SPINNING CO., LTD.
コ ー ド 番 号	3211
代 表 者 の 役 職 氏 名	代表取締役社長 内山 正治
本 店 の 所 在 地 の 場 所	埼玉県川口市上青木5-5-9
電 話 番 号	048-265-2414
連 絡 者	管理部長 太田 仁典

### I 四半期の業績

#### (1) 連結損益計算書

(単位：千円)

期 別	第90期 第1四半期	当期累計	前年同期累計
科 目	自平成25年10月1日 至平成25年12月31日	自平成25年10月1日 至平成25年12月31日	自平成24年10月1日 至平成24年12月31日
I 売上高	157,730	157,730	173,119
II 売上原価	111,405	111,405	123,726
III 売上総利益	46,325	46,325	49,393
IV 販売費及び一般管理費	53,618	53,618	51,099
V 営業利益（△損失）	△ 7,292	△ 7,292	△ 1,706
VI 営業外収益	3,500	3,500	2,857
VII 営業外費用	7,329	7,329	8,831
経常利益（△損失）	△ 11,121	△ 11,121	△ 7,679
特別利益	-	-	-
特別損失	-	-	-
税金調整前四半期純利益（△損失）	△ 11,121	△ 11,121	△ 7,679
法人税、住民税及び事業税	163	163	163
少数株主損益調整前四半期（当期）純利益（△損失）	△ 11,285	△ 11,285	△ 7,843
四半期（当期）純利益（△損失）	△ 11,285	△ 11,285	△ 7,843

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。

#### (連結包括利益計算書)

期 別	第90期 第1四半期	当期累計	前年同期累計
科 目	自平成25年10月1日 至平成25年12月31日	自平成25年10月1日 至平成25年12月31日	自平成24年10月1日 至平成24年12月31日
少数株主損益調整前四半期（当期）利益	△ 11,285	△ 11,285	△ 7,843
その他の包括利益			
その他有価証券評価差額金	△ 134	△ 134	21,469
土地再評価差額金	-	-	-
持分法適用会社に対する持分相当額	-	-	-
その他の包括利益合計	△ 134	△ 134	21,469
包 括 利 益	△ 11,419	△ 11,419	13,626
(内訳)			
親会社株主に係る包括利益	△ 11,419	△ 11,419	13,626
少数株主に係る包括利益	-	-	-

(注)

期 別 科 目	第90期 第1四半期	当期累計	前年同期累計
	自平成25年10月1日 至平成25年12月31日	自平成25年10月1日 至平成25年12月31日	自平成24年10月1日 至平成24年12月31日
期中平均株式数	3,569,137	3,569,137	3,569,737株
1株当たり四半期(当期)純利益	△3円16銭	△3円16銭	△2円20銭
潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益	—	—	—

※ 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (2) 事業部門別売上高

(単位：千円)

期 別 科 目	第90期 第1四半期	当期累計	前年同期累計
	自平成25年10月1日 至平成25年12月31日	自平成25年10月1日 至平成25年12月31日	自平成24年10月1日 至平成24年12月31日
織 維 事 業	103,185	103,185	115,938
賃 貸 事 業	41,799	41,799	41,826
物 流 事 業	12,745	12,745	15,354

## (3) 連結貸借対照表

(単位：千円)

期 別 科 目	第89期	第90期
	(平成25年9月30日)	第1四半期 (平成25年12月31日)
(資産の部)		
I 流動資産		
1 現金及び預金	52,301	248,864
2 受取手形及び売掛金	232,177	186,920
3 商品及び製品	162,781	151,912
4 仕掛品	287	7,382
5 原材料及び貯蔵品	77,313	104,679
6 その他の他	10,612	11,362
貸倒引当金	△101	△101
流動資産合計	535,373	711,020
II 固定資産		
(1) 有形固定資産		
1 建物及び構築物	378,356	371,695
2 機械装置及び運搬具	25,507	25,604
3 土地	2,293,314	2,293,314
4 その他の他	3,618	4,279
有形固定資産合計	2,700,797	2,694,894
(2) 無形固定資産		
1 ソフトウェア	109	96
2 電話加入権	1,124	1,124
無形固定資産合計	1,233	1,220
(3) 投資その他の資産		
1 投資有価証券	229,182	228,971
2 保険積立金	103,746	104,516
3 その他の他	19,680	18,899
貸倒引当金	△105	△105
投資その他の資産合計	352,504	352,282
固定資産合計	3,054,535	3,048,397
資産合計	3,589,908	3,759,417

(単位：千円)

科目	期別	第89期	第90期
		(平成25年9月30日)	第1四半期 (平成25年12月31日)
(負債の部)			
I 流動負債			
1 支払手形及び買掛金		39,178	25,856
2 短期借入金		40,000	90,000
1年以内に返済予定の長期借入金		378,040	395,171
3 未払金		19,679	26,316
4 未払費用		127	155
5 未払法人税等		655	163
6 未払消費税等		4,453	1,917
7 その他		20,823	22,710
流動負債合計		502,957	562,291
II 固定負債			
1 長期借入金		850,181	973,213
2 繰延税金負債		54,138	54,060
3 再評価に係る繰延税金負債		586,696	586,696
4 退職給付引当金		17,480	18,694
5 長期預り敷金保証金		175,221	172,648
固定負債合計		1,683,717	1,805,313
負債合計		2,186,675	2,367,604
(純資産の部)			
I 株主資本			
1 資本金		100,000	100,000
2 資本剰余金		322,741	322,741
3 利益剰余金		△ 130,985	△ 142,270
4 自己株式		△ 1,013	△ 1,013
株主資本合計		290,742	279,457
II その他の包括利益累計額			
1 その他有価証券評価差額金		93,740	93,605
2 土地再評価差額金		1,015,860	1,015,860
3 為替換算調整勘定		2,889	2,889
その他の包括利益累計額合計		1,112,489	1,112,355
純資産合計		1,403,232	1,391,813
負債純資産合計		3,589,908	3,759,417

※ 記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。

(注)

科目	期別	第89期	第90期
		(平成25年9月30日)	第1四半期 (平成25年12月31日)
発行済株式総数		3,589,000株	3,589,000
1 株当たり純資産額		393円16銭	389円96銭

※ 発行済株式総数には自己株式数が含まれております。

(平成25年9月30日19,863株、平成25年12月31日19,863株)

## (4) 連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

項 目	株主資本					その他の包括利益 累計額合計	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
平成25年9月30日残高	100,000	322,741	△ 130,985	△ 1,013	290,742	1,112,489	1,403,232
第1四半期中の変動額							
四半期純損失(△)	—	—	△ 11,285	—	△ 11,285	—	△ 11,285
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の第1四半期中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△ 134	△ 134
第1四半期中の変動額合計	—	—	△ 11,285	—	△ 11,285		△ 11,419
平成24年12月31日残高	100,000	322,741	△ 142,270	△ 1,013	279,457	1,112,355	1,391,813

## (5) 貸借対照表及び損益計算書の作成の基本となる事項

四半期の貸借対照表及び損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則及び手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している会計方針は「有価証券報告書 第5経理の状況1[連結財務諸表等](1)[連結財務諸表]連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項、注記事項」をご参照下さい。

事業年度の貸借対照表及び損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則及び手続と異なる会計処理の基準は次のとおりであります。

1. 固定資産の減価償却の方法 各四半期の減価償却費は年間発生見積額の4分の1に該当する金額を計上しております。
2. 法人税、住民税及び事業税の計上基準 各四半期においては、法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。
3. 経過勘定項目 未収収益、未払費用等の経過勘定項目の内、重要性の低い項目は、四半期決算書上資産及び負債への計上を省略しております。

なお、当該四半期の貸借対照表、損益計算書及び株主資本変動計算書については、公認会計士の監査を受けておりません。

## (6) 会計方針の変更

該当事項はありません。

## II 第90期 第1四半期(平成25年10月1日から平成25年12月31日)の業績の概況

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融緩和策による円安の進行は輸出環境を改善するとともに、景気は緩やかな回復の兆しが見え始めました。また株高による資産増大効果は富裕層の消費拡大、一部の高価商品の売行きが好調となっております。一方、円安に伴い輸入原材料及び輸入製品の原価高騰をきたし、販売価格への十分な転嫁ができず、輸入企業にとっては業績の回復はまだ不透明感が残っております。

繊維業界におきましても、高額衣料品を多く取扱う大都市圏の百貨店での販売が好調に推移したものの、日常・汎用品については消費者の節約・低価格志向により量販店での販売は低迷するといった二極化の様相が続きました。

このような経営環境のなか、当社グループは収益体質の改善、財務体質の強化、新規商品の開発と市場開拓、さらには新しい組織形態の構築を目指し、業務の効率化による経費の削減と製造コストの低減に努めるとともに事業資源の効率的な運用を計ってまいりました。その結果、売上高は157,730千円(前年同173,119千円)と8.9%の減収となりました。収益面においては、営業損失7,292千円(前年同期1,706千円)、経常損失11,121千円(前年同期7,679千円)、四半期純損失11,285千円(前年同期7,843千円)となりました。

## III 第90期通期の売上高及び利益の予測について

第90期通期の売上高及び利益の予想につきましては、当初予想に変更ありません。

(単位：千円)

科 目	期 別	第89期 (実績)	第90期 (予測)
		自 平成24年10月1日 至 平成25年9月30日	自 平成25年10月1日 至 平成26年10月31日
売 上 高		961,837	1,030,000
経 常 利 益		27,453	40,000
当 期 純 利 益		21,776	37,000

#### IV 資金及び借入金の状況

##### (1) 現金及び預金の増減

(連結キャッシュフロー計算書)

(単位：千円)

科 目	期 別	
	前年同期 自 平成24年10月 1 日 至 平成24年12月31日	第90期 第 1 四半期 自 平成25年10月 1 日 至 平成25年12月31日
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失	△ 7,679	△ 11,121
減価償却費	8,306	7,809
受取利息及び受取配当金	△ 2,756	△ 2,870
支払利息	7,819	6,907
為替差損益(△は益)	791	△ 16
売上債権の増減額(△は増加)	44,620	45,256
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 23,375	△ 23,590
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 30,883	△ 13,322
長期預り敷金保証金の増減額(△は減少)	△ 2,951	△ 2,572
未払消費税等の増減額(△は減少)	△ 3,570	△ 2,536
その他	6,214	9,203
小計	△ 3,463	13,145
利息及び配当金の受取額	2,756	2,870
利息の支払額	△ 7,174	△ 6,315
法人税等の支払額	△ 655	△ 655
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,536	9,046
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△ 10,369	△ 1,892
保険積立金の積立による支出	△ 1,540	△ 770
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 11,910	△ 2,663
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	25,000	50,000
長期借入金の借入による収入	142,000	245,000
長期借入金の返済による支出	△ 97,232	△ 104,837
自己株式の取得による支出	-	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	69,768	190,163
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 791	16
V 現金及び現金同等物の増加額	48,529	196,562
VI 現金及び現金同等物の期首残高	95,949	52,301
VII 現金及び現金同等物の期末残高	144,478	248,864

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。

(主な増減理由)

主な増減は以下のとおりであります。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期における現金及び現金同等物は、営業活動および財務活動によって生じた資金の一部を投資活動で使用した結果、248,864千円(前年同期144,478千円)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得ました資金は、9,046千円(前年同期 △8,536千円の支出)となりました。これは主に売上債権の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2,663千円(前年同期 11,910千円の支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、190,163千円(前年同期 69,768千円の収入)となりました。これは短期借入金および長期借入金の借入によるものであります。

(2) 短期借入金の増減

(単位：千円)

期 別	第90期 第1四半期 自平成25年10月1日 至平成25年12月31日
科 目	
短期借入金の増減額(△は減少)	50,000
短期借入金の四半期首残高	40,000
短期借入金の四半期末残高	90,000

(主な増減理由)

短期運転資金借入金の借入によるものであります。

(3) 長期借入金の増減

(単位：千円)

期 別	第90期 第1四半期 自平成25年10月1日 至平成25年12月31日
科 目	
長期借入金の増減額(△は減少)	140,163
長期借入金の四半期首残高	1,228,221
長期借入金の四半期末残高	1,368,384

(注) 長期借入金は1年以内に返済予定の長期借入金を含んでおります。

(主な増減理由)

長期設備および長期運転資金の借入によるものであります。

V その他

期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。